

「どじょう」も踊って喜ぶ米づくり (農事組合法人 ファーム宇賀荘)

＜法人の概要＞

所在地：島根県安来市宇賀荘

設 立：平成 20 年 3 月

資本金：1,480.15 万円 売上高：21,036 万円（平成 25 年）

構成員（議決権）：農業従事者 252 名

役 員：15 名（うち農作業従事 10 名）

従業員数：常時雇用者 2 名、臨時雇用者 0 名

経営面積：188ha（うち所有 1.3ha、借入 186.7ha） 基幹農作業受託面積：3ha

作付作物：米 89ha、大豆 97ha、そば 2ha



＜営農を開始するまでの状況＞

宇賀荘地区は安来市の市街地から約 4Km 南に位置し、比較的平坦地ではあるが圃場は、大正時代に耕地整理された 12a 区画圃場であり、開水路は用排兼用の土水路、耕作道は狭小で軽四トラックの離合もできない状況のため、大型機械化・経営規模拡大の妨げになっていた。

昭和時代の後半から兼業化が進むとともに、担い手の高齢化が進行、農業機械の更新時期、稲作の収益性低下により担い手不足が深刻化してきた。

耕作放棄地が地区圃場に見られるようになり、担い手不足解消を目指して平成 9 年に有志による圃場整備事業準備委員会が結成され、平成 12 年より大型圃場整備事業に着手し、平成 19 年 10 月に 238.3ha の整備が完成したが、整備事業の進捗にあわせて平成 14 年 3 月に宇賀荘地区営農組合を設立し、部分完成の 51.6ha において営農開始した。

その後、平成 20 年 3 月に農事組合法人ファーム宇賀荘を設立し、188ha で営農を行い、現在、第 7 期事業年度を迎えている。

<特徴的な取組>

環境にやさしい農業をキャッチフレーズに「環境を守る農業宣言」を行い、主食の水稻栽培は特別栽培米の作付を行っている。

転作作物である大豆についても、減農薬栽培を実践し、エコファーマーの認証を受け「やすぎのエコ大豆」として、加工業者・消費者に安心・安全な農産物の提供を行っている。

営農の特徴は1ha 大型区画圃場における、大型農業機械を活用した効率的農業経営を目指し活動を行っている。

消費者との田植・田の草取り・案山子作り・稲刈り、脱穀交流会などの活動を通じて、消費者の親子の皆さんに農産物の安全・安心をPRをして、消費拡大に努めている。

<今後の農業経営の展開方向>

営農活動基盤の整備を推進するとともに、助成金の営農目標達成年度以降の作付品種割合の再検討を行い、生産物を原料に六次産業化を検討し地域農業の担い手として年間雇用の創設を目指した農業経営を行う。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

集落営農組織を設立後法人化が通例ですが、大規模大区画圃場では従来の農業機械では、作業能率が悪く新規大型農業機械を導入する関係で所有権の移転等で、最初から農事組合法人（農業生産法人）設立が最善策と思います。

